

## 令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： あびこエコ・プロジェクトの推進

基本施策名： 6-1 地球環境の保全

担当部課名： 環境経済部手賀沼課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	17,229	0	11,650	0	0	5,579
補正後予算額	17,823	0	11,650	0	0	6,465
決算額	16,284	0	9,771	0	0	6,513

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

「環境保全のための率先行動計画」と、市の事務事業が環境に与える負荷を減少させ、地球温暖化対策を推進するための「地球温暖化対策実行計画」、「市民・事業者への環境配慮指針」の普及の3つの役割を併せた計画である「あびこエコ・プロジェクト」を推進します。

また、令和4年度の温室効果ガス排出量等についての報告書を作成・公表します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

令和5年度には、あびこエコ・プロジェクト5の見直しを行いました（国の温室効果ガス排出量削減目標に合わせ、市の削減目標及び取り組み項目の改定を行いました）。あびこエコ・プロジェクト5の推進のため、エコプロジェクト推進本部会議で年度の取り組み内容を定め、実施しました。具体的な取り組み内容としては、電気使用量やグリーン購入実施率、ノーカーデー、夏の施設巡視等を実施し、庁内の取り組み状況の把握に努めた他、職員研修や緑のカーテンコンテストを実施するなどして、環境負荷低減の啓発に努めました。

また、並行して前年度の温室効果ガス排出量等調査結果を報告書にまとめ、推進本部会議で報告をし、結果を公表しました。

市民の省エネルギー・再生可能エネルギー化の取り組みを支援する、我孫子市住宅用脱炭素化促進事業補助金の申請設備件数は、195件となっており、前年度より大幅に増加しています。

## 令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 新クリーンセンターの整備（環境影響評価事後調査）

基本施策名： 6-1 地球環境の保全

担当部課名： 環境経済部手賀沼課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	13,420	0	0	0	0	13,420
補正後予算額	4,829	0	0	0	0	4,829
決算額	4,829	0	0	0	0	4,829

## 2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

新クリーンセンターの稼働に伴い、大気質の環境影響評価事後調査を実施します。令和5年度より新しい焼却炉からばい煙が発生するため、季節ごと、年4回7日間ずつ、二酸化硫黄や窒素酸化物などの濃度を測定し、事前に予測した環境影響評価との比較を行います。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

大気質の環境影響評価事後調査については、5月に春季、8月に夏季、10月に秋季、12月に冬季と計4回実施しました。

新クリーンセンター稼働後の影響は、事前の予測結果に対し妥当であり、また、環境保全措置の実施により環境への影響が低減されていることが確認できました。

## 令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 資源化施設の整備

基本施策名： 6-1 地球環境の保全

担当部課名： 環境経済部手賀沼課

## 1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	74,679	24,892	0	9,700	0	40,087
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	45,540	24,892	0	10,700	0	9,948

## 2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

資源化施設の整備に向け、建設用地となる旧クリーンセンターの建物を解体するための設計を行います。併せて、土壌汚染対策法に基づき、当該地の汚染状況を調査する必要があることから、地歴調査及び土壌汚染調査を実施します。

## 3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

当初の予定どおり旧クリーンセンターの解体設計、地歴調査及び土壌汚染調査が完了しました。なお、土壌汚染については1か所基準超過が確認されたため、次年度は土壌汚染対策設計を行います。

また、決算額が45,540千円となったため、国庫支出金（循環型社会形成推進交付金）の充当額は15,179千円となりました。ただし、国庫支出金としては当初予定どおり24,892千円を令和5年度の収入済額とし、差額の9,713千円については、令和6年度事業への年度間調整額とすることを環境省及び千葉県循環型社会推進課と調整済みです。